

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[16]o-ニトロアニソール</p> <p>[17]o-ニトロアニリン</p>	<p>【大気】</p> <p>大気 → 捕集 (Sep-Pak PS-AIR 5L/分×24時間) → 溶出 (アセトニトリル 10mL)</p> <p>濃縮 (窒素パーズ 1mLまで) → カラムクリーンアップ (Sep-Pak Plus Silica 溶出: ヘキサン 5mL、ジクロロメタン/ヘキサン(50:50) 5mL)</p> <p>希釈 (精製水 0.5mL) → 抽出 (ヘキサン 0.5mL×2回) → シリシス<sup>®</sup>イ<sup>®</sup>ク添加 フェナントレン-d<sub>10</sub> 100ng</p> <p>定容 (ヘキサン 1mL) → GC/MS-SIM-EI</p> <p>注) 溶出において、バックフラッシュ法によりアセトニトリル6mLで実施された例があった。</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【大気】 (ng/m<sup>3</sup>) [16] 1.4 [17] 0.32</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP6890 MS：HP5973MSD カラム DB-5MS又はVF-5ms 25m×0.25mm、0.25μm 若しくはHP-5MS 30m×0.25mm、0.25μm</p>